

お口の健康をバイオフィルムから守りましょう!



バイオフィルムの困った性質

バイオフィルムという言葉を知っていますか?お風呂のパイプや下水管の内側に見られるヌルヌルは、身近なバイオフィルムの例です。その他にも人体に埋め込んだ医療用の人工器具や尿道カテーテルの表面などに見られ、院内感染の原因として問題視されています。

バイオフィルムの特徴は、表面にくっつく性質が強く簡単にははがれないことと、抗菌性の薬も透過させないほど強いことです。物理的に取り除くしか方法がありません。

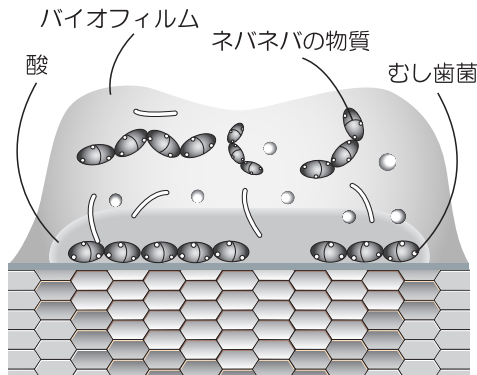
プラーク(歯垢)もバイオフィルム!

歯の表面についているプラークもバイオフィルムです。むし歯の原因菌は、お口に入ってきた砂糖を栄養源としてネバネバした物質をつくり歯の表面にしっかりくっつき、それが溜まって厚い膜状(バイオフィルム)になります。

むし歯菌は、この膜に守られて増え続けどんどん酸をつくります。膜の内側は強い酸性となり脱灰(歯のエナメル質から成分のリンやカルシウムが溶け出す反応)が進みます。こうしてむし歯は本格化します。

歯周病もバイオフィルムが始まり

歯周病も細菌による感染症です。歯と歯肉の境目についたプラークは、歯と歯肉の隙間(歯周ポケット)を広げて奥に入り込みバイオフィルムをつくります。この中に強い毒素をだす細菌が繁殖し、周りの歯肉をますます攻撃するようになります。歯肉に遮られてセルフケアが十分できないので、歯の表面のものよりやっかいです。



花田信弘「もう虫歯にならない」より

歯の表面にバイオフィルムができるには、18時間以上かかります。

1日に一度は、プラークが簡単に落とせるうちに
ていねいに歯をみがきましょう。

専門家による処置(PMTCやスクレーピング・ルートプレーニング)も必要です。

KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

4 2004年 月号



昨年来より当院で皆さんにお勧めしている「PMTC (Professional Tooth Cleaning)」もやっとその良さが認められてか軌道に乗ってきた感があります。別頁の記事にも書いてあるように、ご自分では落とせない汚れを我々がお掃除する事です。一連の治療の後に、汚れの付着しやすさに応じた間隔でクリーニングをお勧めしております。加えて、次回の予約をあらかじめおとりする事を可能にする事が可能な為、「そろそろ予約を入れようかな」と思って電話をしてもなかなか予約がとれないというイライラからも解放されます。ここまで頑張っている歯科医院はそうはないと自負しております。

さて現在、健診、PMTC以外の治療の予約は、空いている時間帯であれば毎週の御予約が可能です。混んでいる夕刻以降はしっかりと時間をかけている診療形態の為、2週間に一度の予約がやっとの状態です。ですからキャンセルすると、1ヶ月に一度の診療という事態になることも残念ながら出てきています。

つきましては、■予約は確実に来院可能な日時をおとりして頂きたい、■キャンセルされる場合は早めに御連絡を頂きたい(他の方にお時間をお譲りできます)、■熱心に頑張っって通院して、お口の健康を守って頂きたい、と患者の皆様にはお願いしたいと思っております。

スタッフ一同、院長に怒鳴られながら、皆さんの「歯とお口の健康」を親身になって考えています。予約とは私たちと皆様のお約束であると思っております。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニューズレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

☆ 診療日変更のお知らせ ☆

診療日の変更はありません



〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

☎ 03-5699-8888

ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail dental@wahaha.gr.jp